

第3回福岡市都市計画マスタープラン改定検討懇話会 議事概要

- 1 日時 令和6年7月5日（金）10:00～11:30
- 2 場所 TKP エルガーラホール 7階 会議室2
- 3 出席者 朝廣委員、有岡委員、坂井委員（オンライン参加）、
辰巳委員（オンライン参加）、田中委員、萩島委員（オンライン参加）、
濱崎委員、三谷委員、吉武委員
- 4 会議次第 ① 開会
② 説明・意見交換
③ 閉会
- 5 委員からの意見概要

【都市づくりの基本理念・基本方向関係】

発言者	意見概要
委員	・ 今後 10 年間の都市づくりの方針を示す言葉として、都市の「成長」という言葉の使い方がどうかと思う。
委員	・ 最近「成熟」という言葉を使うことが多いが、人口があと 20 年間くらい伸びることを、現段階でどのように考えるかによるのではないかと。
委員	・ 福岡は日本でも珍しく人口が伸びている都市であり、人口が伸びている期間は「成長」という言葉を使ってもよいのではないかと。 ・ 人口が減ってくると全ての面では「成長」と書きづらいが、人口が減りだしても成長の余地があるので、「成長」という言葉を使わないということではないと思う。
委員	・ 「持続可能な発展」という言葉もあるが、福岡は人口が伸びるので、「成長」でよいのではないかと。
委員	・ 強みを伸ばすという姿勢で、「成長」という言葉で良いのではないかと。
委員	・ 「発展」という言葉を使ってはどうか。
委員	・ 一律に人口が増加するのではなく、市街化調整区域などでは人口が減少する地区もあるので、個別に対応していくことで良いのではないかと。
委員	・ 基本理念2に「地域の特性」とあるが、最近は商店街の衰退が著しいと感じており、補助金などで活性化して、活力ある商店街をめざしてもらいたい。
委員	・ 住宅地におけるまちづくりの担い手について、何か記載があったほうがよいのではないかと。
委員	・ 基本理念1の「交流」は、誰と誰の交流で、どのように実現していくかという視点が必要ではないかと。
委員	・ 基本方向3に「各拠点の特性」、基本方向4に「地域の特性」とあるが、「地域」という言葉は、具体的なイメージを掴みづらい感じを受ける。
委員	・ 基本方向1に「広域交通ネットワーク」とあるが、人流だけでなく物流も含めた港湾機能については、基本方向から見えてこない。 ・ 福岡にとって、海があることは資源であり、陸地だけでなく海を活用することも、どこかで出てきてよいのではないかと。 ・ 基本方向3に「公共交通を主軸とした交通体系」とあるが、新しい交通モードにどのように対応していくかは検討しないといけないのではないかと。

委員	・基本方向3に「公共交通を主軸とした交通体系」とあるが、今後、公共交通を維持していかないといけないため、「持続可能な交通体系づくり」といった言葉を入れておいてはどうか。 ・乗務員不足などにより、バスをこれまでの規模で維持することはできなくなってきており、幹線としての鉄道、フィーダーとしてのバスといった役割分担を明確化していく必要があるのではないかな。
委員	・基本方向4とも重複するが、災害についても、多様な人に対する優しさや安全・安心といった観点があってもよい。
委員	・山の管理や農地のあり方が都市の防災にも影響するため、生産緑地制度を活用した土地利用など、農地や林地を含めた都市の防災のあり方にもう一步踏み込んではどうかな。
委員	・都市の魅力や生活の質を高められるように、新しい技術を活用していくことが大事ではないかな。 ・外国人を含めて優秀な人材を福岡が吸引していくためには、生活環境の良さなど、東京にはない地方都市ならではの良さが重要になるのではないかな。

【土地利用の基本的な方針関係】

発言者	意見概要
委員	・コンパクトシティをめざす方針となっているが、いずれは人口減少に転ずるものの、まだしばらく人口増加が見込まれるもとで、市街化区域のサイズをどの程度まで許容するのかが分かりにくい。
委員	・市街化区域内の農地をどのようにするのかをある程度示す必要があるのではないかな。 ・次回の改定になるかもしれないが、逆線引きについての議論も必要ではないかな。
委員	・今後10年間で、指定から30年間が経過する生産緑地地区が出てくるため、対応を検討する際の視点を入れておくことも重要ではないかな。
委員	・生活の質の向上のためには、生活者の視点からバス路線や交通拠点の利便性などを確認し、交通体系づくりを検討する必要があるのではないかな。 ・拠点に機能を集約することも大事であり、住宅地の拠点に、生活を豊かにするような施設が整備されるような計画が必要ではないかな。
委員	・ヒトやモノの移動のデータを分析して、政策に生かしていくことが大事。
委員	・今後10年間を考えたときに、ウォーターフロントといったキーワードを挙げる必要はないかな。
委員	・オープンスペースや緑地の役割を、都市機能として記載することが大事。 ・福岡は都市と山が接しており、フリンジ地区の境界管理を空間計画として考えることは、美しい農地や林地のアセットとしての価値を高めていくためには大事。
委員	・都市関連のデータをオープンデータ化し、民間の方が使いやすくすることは大事。 ・都市計画マスタープランの中で、デジタル対応をどのように位置づけるかは議論しておいたほうがよいのではないかな。
委員	・部門別の方針は、縦だけではなく、環境や防災に加えてデジタルなどの横串を刺すような構成があっても良いのではないかな。
委員	・市街化区域への編入を抑制するのか、できるだけ編入するのかを、もう少し表現を工夫して分かりやすくできないかな。
委員	・昭和40年代につくられた住宅地では、空き家やお年寄りの方が多く、課題がある。
委員	・地域コミュニティの維持については、関係人口という言葉があるように、地域に住んでいない人も含めたコミュニティづくりが大事であり、多様な人々の共働を意識できるような書きぶりを検討してもらいたい。

以上